

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月31日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ

上場取引所 東

コード番号 6488 URL <https://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 050-3508-5835

半期報告書提出予定日 2024年11月14日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	4,755	13.3	473	8.1	518	41.3	407	35.8
2024年3月期中間期	4,195	11.6	515	21.5	883	15.2	635	2.1

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 782百万円 (11.6%) 2024年3月期中間期 885百万円 (3.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	32.07	
2024年3月期中間期	49.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	20,010	16,222	80.4	1,264.35
2024年3月期	19,340	15,788	80.9	1,230.44

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 16,079百万円 2024年3月期 15,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		27.00	27.00
2025年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	8.4	870	0.6	1,350	9.1	1,000	11.8	78.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	13,934,946 株	2024年3月期	13,934,946 株
期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,217,068 株	2024年3月期	1,217,068 株
期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	12,717,878 株	2024年3月期中間期	12,744,678 株

第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 2「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結貸借対照表に関する注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用環境は緩やかに改善しており、個人消費が今春の好調な賃上げを受けて上向いたことで、緩やかな回復基調を維持しました。円安の進行などによる物価高が実質購買力と消費マインドに悪影響を及ぼしたものの、コロナ禍で積みあがった超過貯蓄に加え、6月から始まった所得税・住民税の定額減税なども家計支出の下支えとなりました。企業部門においては、良好な収益環境や期待成長率の高まりを背景に、人手不足への対応によるデジタル化・省人化投資が拡大した他、半導体や脱炭素に関する政府支援もあり好調を維持しました。今後につきましては、個人消費、設備投資、インバウンド需要の増加が景気を牽引し、緩やかな回復基調が続く見込みであります。海外経済においては、米国経済は長引く金融引き締めの影響により主に低所得者層の消費は抑制されているものの、コロナ禍の財政支援などによる家計貯蓄が消費の原資となった他、産業政策による積極的な投資も景気を下支えし堅調に推移しました。欧州経済はエネルギー価格の押し上げ剥落に加えて、食料品価格のピークアウト、企業の価格転嫁の一巡を受け、消費者物価上昇率の鈍化が鮮明となりました。物価上昇率の鈍化に伴う個人消費の拡大により家計の実質購買力が回復したことで景気は回復基調で推移しました。中国経済は公共投資の下支えなど政府の対策による押し上げ効果は限定的にとどまり、家計の消費マインドの冷え込みや不動産市場の悪化が続いたことで景気は減速しました。今後につきましては、ウクライナ情勢および中東情勢など予断を許さない状況となっている他、米国大統領選挙によりもたらされる今後の世界情勢に与える影響なども不確実性を増しており、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売では、建築設備市場においては、都心再開発案件で着工遅れや工期の長い案件が多かった他、工場現場やホテル現場などでも全般的に工期の遅れが継続し低調な売上となりました。しかしその一方で工場設備市場においては、医療機関・医薬品工場向けマグネットミキサーの好調などにより、国内売上は前期を上回る推移となりました。海外顧客向け販売では、中国向けの販売は前期を下回る売上だったものの、北米向けや欧州向けの販売が好調に推移したことに加え、前期に取得した海外子会社の売上を連結したことにより、販売活動全体としては前期を上回る結果となりました。今後につきましては、販売活動においては、新規取得子会社など関係各社との理解を深め、シナジー効果を生むよう方策します。また新規物件の受注率・受注額を向上させ、流通市場においては小口案件やリプレイス需要の確保、および新製品の強力な販促を展開し、さらにはプラント市場へ一層の参入を目指すなど、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当社グループは引き続き積極的な提案営業を展開した結果、連結売上高は47億55百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底しましたものの、連結子会社ののれん償却額の増加などにより営業利益は4億73百万円(前年同期比8.1%減)となりました。経常利益は為替の影響などにより5億18百万円(前年同期比41.3%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億7百万円(前年同期比35.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は200億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億69百万円増加しました。主に現金及び預金が4億22百万円、のれんが1億25百万円、有形固定資産が1億3百万円増加したことなどによりです。

負債は37億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億35百万円増加しました。主に短期借入金が3億円増加したことなどによりです。

純資産は162億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億34百万円増加しました。主に配当金を3億43百万円支払った一方、親会社株主に帰属する中間純利益を4億7百万円計上したことにより利益剰余金が64百万円増加したことや、為替換算調整勘定が3億67百万円増加したことなどによりです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月16日付決算短信にて開示いたしました予想値から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,069,646	3,492,551
受取手形及び売掛金	※ 2,002,777	1,924,977
電子記録債権	※ 1,085,795	1,072,373
有価証券	73,588	342,648
商品及び製品	1,452,486	1,511,976
仕掛品	860,493	857,676
原材料及び貯蔵品	989,072	1,071,880
その他	272,646	196,689
貸倒引当金	△21,823	△20,711
流動資産合計	9,784,683	10,450,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,629,010	3,822,404
減価償却累計額	△2,019,102	△2,131,098
建物及び構築物(純額)	1,609,907	1,691,305
機械装置及び運搬具	4,728,460	4,992,733
減価償却累計額	△3,407,782	△3,708,498
機械装置及び運搬具(純額)	1,320,677	1,284,235
土地	1,289,883	1,308,509
リース資産	271,285	377,063
減価償却累計額	△105,190	△132,357
リース資産(純額)	166,095	244,706
建設仮勘定	146,850	101,962
その他	1,258,256	1,299,983
減価償却累計額	△1,175,695	△1,211,179
その他(純額)	82,560	88,803
有形固定資産合計	4,615,974	4,719,522
無形固定資産		
のれん	853,197	978,425
その他	34,482	31,491
無形固定資産合計	887,679	1,009,916
投資その他の資産		
投資有価証券	3,617,357	3,366,861
その他	435,084	463,688
投資その他の資産合計	4,052,441	3,830,549
固定資産合計	9,556,096	9,559,989
資産合計	19,340,779	20,010,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※ 770,557	863,039
短期借入金	400,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	140,004	145,292
未払法人税等	275,009	164,690
賞与引当金	213,251	204,378
その他	427,380	413,866
流動負債合計	2,226,203	2,491,266
固定負債		
長期借入金	489,994	423,768
リース債務	135,879	132,520
役員退職慰労引当金	140,174	146,249
退職給付に係る負債	419,962	435,818
資産除去債務	46,131	46,994
その他	93,832	110,765
固定負債合計	1,325,975	1,296,118
負債合計	3,552,178	3,787,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	9,987,892	10,052,322
自己株式	△489,921	△489,921
株主資本合計	14,064,551	14,128,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,139	105,467
為替換算調整勘定	1,477,919	1,845,401
その他の包括利益累計額合計	1,584,058	1,950,868
非支配株主持分	139,990	142,815
純資産合計	15,788,601	16,222,666
負債純資産合計	19,340,779	20,010,050

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,195,358	4,755,154
売上原価	2,544,295	2,831,271
売上総利益	1,651,063	1,923,883
販売費及び一般管理費	※ 1,135,754	※ 1,450,163
営業利益	515,309	473,719
営業外収益		
受取利息	31,635	27,565
受取配当金	8,227	4,170
持分法による投資利益	183,449	218,864
為替差益	79,619	—
その他	79,850	14,045
営業外収益合計	382,781	264,645
営業外費用		
支払利息	2,792	8,564
為替差損	—	188,922
その他	12,173	22,359
営業外費用合計	14,965	219,846
経常利益	883,125	518,519
特別利益		
投資有価証券売却益	2,178	53,650
特別利益合計	2,178	53,650
特別損失		
減損損失	12,500	—
投資有価証券売却損	1,458	—
特別損失合計	13,958	—
税金等調整前中間純利益	871,345	572,169
法人税、住民税及び事業税	225,751	146,814
法人税等調整額	4,716	16,598
法人税等合計	230,468	163,412
中間純利益	640,877	408,757
非支配株主に帰属する中間純利益	5,235	944
親会社株主に帰属する中間純利益	635,641	407,812

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	640,877	408,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,167	△672
為替換算調整勘定	237,630	407,060
持分法適用会社に対する持分相当額	△37,635	△32,697
その他の包括利益合計	244,161	373,690
中間包括利益	885,039	782,447
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	879,803	774,622
非支配株主に係る中間包括利益	5,235	7,825

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	871,345	572,169
減価償却費	248,074	265,521
減損損失	12,500	—
のれん償却額	22,246	83,026
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,025	△11,400
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,075	6,075
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41,745	△1,112
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,005	11,826
受取利息及び受取配当金	△39,862	△31,736
支払利息	2,792	8,564
為替差損益 (△は益)	△46,240	35,088
持分法による投資損益 (△は益)	△41,107	△98,248
固定資産除売却損益 (△は益)	1,315	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△719	△53,650
売上債権の増減額 (△は増加)	△112,296	140,467
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△213,180	△35,291
仕入債務の増減額 (△は減少)	43,595	97,429
その他	101,294	82,101
小計	798,066	1,070,831
利息及び配当金の受取額	36,214	31,748
利息の支払額	△2,792	△8,564
法人税等の支払額	△83,863	△231,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	747,624	862,413
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,678	△27,463
定期預金の払戻による収入	10,083	10,083
有形固定資産の取得による支出	△179,957	△131,112
有形固定資産の売却による収入	28,877	30
無形固定資産の取得による支出	△2,071	△5,267
投資有価証券の取得による支出	△250,811	△539
投資有価証券の売却による収入	18,127	77,202
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△89,528
その他の支出	△14,191	△28,908
その他の収入	3,429	3,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△397,191	△191,897
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	175,000
長期借入金の返済による支出	△21,317	△108,186
配当金の支払額	△331,361	△343,382
非支配株主への配当金の支払額	△10,000	△5,000
リース債務の返済による支出	△14,390	△101,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△277,069	△383,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	72,670	118,573
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	146,034	405,523
現金及び現金同等物の期首残高	2,230,440	3,002,560
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 2,376,474	※ 3,408,083

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※ 中間連結会計期間末日満期手形等

中間連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
受取手形	6,833千円	—千円
支払手形	13,095	—
電子記録債権	26,882	—
電子記録債務	121,567	—

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
役員退職慰労引当金繰入額	6,075千円	6,075千円
給料	402,182	504,521
賞与引当金繰入額	95,176	104,967
退職給付費用	24,724	21,293
貸倒引当金繰入額	△16,561	△2,258

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
現金及び預金勘定	2,431,609千円	3,492,551千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△55,134	△84,467
現金及び現金同等物	2,376,474	3,408,083

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,423,950	771,408	4,195,358
その他の収益	-	-	-
外部顧客への売上高	3,423,950	771,408	4,195,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,367	921,956	982,324
計	3,484,317	1,693,364	5,177,682
セグメント利益	416,161	135,362	551,524

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	551,524
セグメント間取引消去	△3,922
のれんの償却額	△22,246
棚卸資産の調整額	△10,046
中間連結損益計算書の営業利益	515,309

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては12,500千円であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	日本	アジア	合計
売上高			
顧客との契約から生じる収益	3,693,873	1,061,281	4,755,154
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,693,873	1,061,281	4,755,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,116	967,368	1,014,484
計	3,740,989	2,028,650	5,769,639
セグメント利益	396,506	113,780	510,287

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	510,287
セグメント間取引消去	△3,372
棚卸資産の調整額	△33,194
中間連結損益計算書の営業利益	473,719

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「日本」セグメントにおいて、レッツ株式会社を連結子会社としたことに伴い、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当中間連結会計期間においては208,253千円であります。